

心理学・教育学委員会排除・包摂と教育分科会（第25期・第6回）
議事要旨

会議名：心理学・教育学委員会排除・包摂と教育分科会（第25期・第6回）

日時：令和4年5月30日（月）10：00～11：30

会場：オンライン開催

出席者：岡部美香、松下佳代、吉田文、勝野正章、小玉重夫、浅井幸子、近藤孝弘、
坂井俊樹、西岡加名恵、湯川嘉津美

<議事>

（1）前回議事要旨の確認
了承された。

（2）令和4～5年度の活動について

岡部委員長より、来年日本で開催されるG7、Gサイエンスのテーマに即して、海外からの参加も含めて高校生・中学生が議論し、提言する取組を行いたいとの提案がなされた。

それに対し、委員から参加の単位（学校・学級単位か個人か）や学校・年齢段階、当日及び事前の準備や予算など実際的な事項について質問や意見が出された。また、委員がグループに分かれて、それぞれ第25期中に一度実施することを前回の会議で決めたシンポジウムとの関係についても確認された。

以上のような協議を経てG7、Gサイエンスが開催される令和5年3月に、生徒（ひとまずは高校生・中学生中心。今後の課題として幼稚園、保育園の子どもたちまで広げること検討する）がそれまでの探究的学びに基づく発表、議論、提言を行うシンポジウムを開催することで合意した。まずは、G7、Gサイエンスのテーマが8月頃はっきりするので、種々の検討・配慮事項についてアイデアを出し合いながら具体案を準備し、9月くらいから各地の教育委員会、学校等に参加を呼び掛けていくスケジュールで進めていくことにした。

最後に、各グループで実施するシンポジウムの準備状況を確認し、共有した。

（3）その他
特になし。